

## 企業版ふるさと納税の寄付をいただいています

企業版ふるさと納税で本町にご寄付いただいた東京中日企業様へ、4月16日に感謝状を贈呈しました。

企業版ふるさと納税とは国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄付を行った場合、企業の法人関係税から税額控除される仕組みです。

この制度により、地域に貢献したいと考えている企業から地方自治体へ応援が増えています。



### 令和2年度起業版ふるさと納税寄付実績

令和2年10月29日株式会社ピハナコンサルティング様	金額	非公表
令和3年3月15日サンフラワー株式会社様	金額	500万円
令和3年3月29日東京中日企業株式会社様	金額	非公表

## 4・5月の まちのわだい

## 地域を変えていく新しい力

# 地域おこし協力隊活動報告



TITLE: 初年度を終えて

記: 商店街振興推進員 渡辺 裕介

岡山県から移住しまして、協力隊として商工会に赴任してあっという間に1年が過ぎました。コロナ禍により昨年度のイベントはほとんどが中止になってしまったため、さまざまなことが未経験のまま1年が過ぎてしまい悔しくももどかしい思いをしております。それでもなお商店街活性化のために、商工会として多くの事業を推し進めて参りました。その中でご紹介しますと、商店街周辺の7箇所に案内看板を設置、またパンフレット型の商店街マップを作成しました。これらは町外から来る方に少しでも商店街へ来ていただくための施策です。看板を指さしながら商店街の全体を知り、マップを手にとって広げながら歩いている家族の笑顔イメージして作成したものです。そんな笑顔を目の当たりでできる日を心待ちにしています。

現在は、商工会で掲げている『上士幌町商店街振興計画』を達成していくための「ワーキンググループ会議」を立ち上げて、商店街振興のために具体的にどういった行動が必要なのか、議論を進めています。

さまざまなことが今まで通りとはいかず、制限されることの多い状況になっていますが、商店街活性化のため、商店街に名を連ねる事業者の方々のため、町民の方々のために精一杯関わらせていただきたいと思います。



### 交通安全指導員田中正利さん 3/4 北海道善行賞受賞

交通安全指導員会の田中正利指導員が北海道善行賞を受賞され、令和3年3月4日に授賞式が行われました。北海道善行賞は交通安全指導員として、10年間にわたって小学生への交通指導等の実践活動を行い、町の交通安全運動推進のため活躍された方に対し、送られる賞です。



### 39年間で活躍されました 3/31 佐藤勇さん交通安全指導員退任

令和3年3月31日の任期満了をもって交通安全指導員会の佐藤勇さんが退任されました。昭和56年から39年間、季節、天候を問わず子どもたちが安全に通学できるよう、日々見守っていただきました。長きにわたる指導員活動、本当にお疲れ様でした。



### 夜間の搜索支援 4/14 ドローンによる搜索支援協定締結

上士幌町は、一般社団法人 Japan Innovation Challengeと「ドローンによる夜間の搜索支援サービス」に関する協定を締結しました。

同社が提供する夜間搜索支援サービス「NIGHT HAWKS」は自治体からの要請を受け、ドローンに搭載した赤外線カメラや照明を用いて搜索支援を行います。

この協定により遭難発生時、これまで搜索隊の二次災害の危険性などがあるため困難だった夜間にも、ドローンによる搜索支援を行うことができるようになります。



### ほろんちゃんのかわいいデザインです 4/20 火災予防ステッカー完成

昨年より上士幌町消防署と上士幌郵便局が連携して、郵便車両に火災予防のステッカーを張り、呼びかけを行っています。

今年度は上士幌中学校2年生の戸枝綺音さんと戸枝琴音さんがデザインしました。

戸枝綺音さんは「デザインしたステッカーを張った車が走っているのはうれしい」と話し、西垣消防署長は「2人の親しみやすいデザインのステッカーをぜひ町民の方に見ていただきたい」と話しました。



### 上士幌酪農振興会 4/30 チーズ375ケース寄付

上士幌酪農振興会様から「よつば北海道100ミニチーズ」375ケース(3,000個)を寄付いただきました。

こども園の園児に1人2箱配布され、残りについてはおやつ時間などで提供する予定です。

酪農振興会佐藤喜明会長は「コロナ禍で大変な時期だが、子どもたちには栄養のある乳製品をたくさん食べて元気に育ってほしい」とお話しいただきました。竹中町長は「栄養豊富な乳製品を食べて健やかに成長してほしい」と話しました。



短歌

懐中電燈あたまに縛り耳垢を真摯に取る子に笑ってしまひぬ  
 知りあいの庭ゆくごとく縦横にフランス歩ゆめりわが若き日よ  
 言哀し倫理の哀しマスコミのバッシング被害を哀く受け止む  
 同調に魂の無きその不気味検証無きのあしたを案じ  
 敷石の間に一輪たんぼの妖精の如く風にゆれてる  
 風強き朝を自転車こぎ行けばあおられ危うし抗らい重し  
 今日二人コロナの感染十勝にも連休明けのニュースに見たり  
 連休は出掛けることもなき日々には野菜畑の土を起こして  
 露の臺ボカボカ陽気にぐんぐんと花を咲かせる道を歩けり  
 母の日に贈るストールの出来上がり母は喜びを待てるか待てり  
 リズム良く運動すると気も晴れる週一吾の楽しみなりき  
 連休を一人家に籠もりてたまの散歩に気を整える  
 雨や風強くなりたる午後三時仕事帰りに傘を壊しぬ  
 ヤチブキを採りし小川のせせらぎに黄色き花の風に揺らめく  
 移住策うまくゆきしかわが町に見慣れぬ人の多く行き交ふ

石三米瀬松高米小鈴中佐尾本  
 川角森戸田木森松木村藤野間  
 裕一博洋理誠真義仁葵よし栞  
 子彦樹明恵也弓美豊志衣乃風

令和3年 4 月末現在の 人口

男性	2,434人(+1人)
女性	2,539人(+3人)
人口	4,973人(+4人)
世帯数	2,616世帯(+7世帯)

令和 3 年度 ふるさと納税寄付金

4 月分	664 件 12,796,000 円
累計	664 件 12,796,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をして  
 いただき心より感謝を申し上げます。  
 ※5月12日現在

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

(正) 大友 贈り物  
 (誤) 大友 贈り

●広報5月号の31ページ「まちのわたい」において大友贈り物様に音更地区保護司会より感謝状が贈呈されました。また、大友贈り物様のお名前に誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正し、お詫びいたします。

お詫びと訂正

広報がみしほろ 7月号は6月25日(金) 発行予定

TITLE:今年度は授業参観を実施できました

4月24日(土)、昨年度は新型コロナウイルス感染症の関係でできなかったPTA総会と授業公開を今年度は何とか実施できました。土曜開催とあって40名弱の保護者が来校し、それぞれの教室にて、子どもの様子を含めじっくりと参観しておりました。特に1年生の教室には多数の保護者の方が参観に来ており、入学して間もないということもあって関心の高さを窺うことができました。また3年生では、保護者の方も一緒に授業に参加しているような雰囲気のカラスもあり、全体的に静かで非常に落ち着いた中での授業公開となりました。今年度は、もう2回計画しております。是非、多くの方にご参観いただきたいと思っております。

※参観日の写真撮影ができませんでしたので、最近の学校生活の様子をご覧ください。



△外部講師を迎えて(4月23日、3年選択ライフデザイン)



△英語の習熟度別授業(4月28日、3年応用クラス)



△生徒総会開会前のひととき(5月7日)

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

1年生局員の対面式レポート

文責 大川 暖人

入学式の翌日の6・7時間目に生徒会が主催する対面式がありました。先生たちがスライドショーで紹介されましたが、その中で自分が一番印象に残っているのは数学の木村颯先生です。理由は「一番好きな食べものは」という質問の答えが自分と同じ「ラーメン」だったからです。

後半は各部活動の紹介がありましたが、自分としては吹奏楽部と新聞局が印象に残りました。どちらに入ろうか迷ったのですが、「一緒に入ろう」と友達に誘われたのと「新聞を作ってみよう」という気持ちもあったので新聞局に決めました。

入学してまだ2日目ですごく緊張していましたが、この対面式を見て学校生活や部活動に対する不安や悩みが消えました。



△生徒会長が開会のあいさつを



△姿勢が初々しい1年生です



△先生をいじったりもしました